

第2回

# 日本養護実践学会 学術集会のご案内

養護実践をいかに論文化するか  
— 日々の実践を研究的視点からとらえる —

## 特別講演

### 「養護概説」から『養護学』へ

**服部 祥子** 大阪人間科学大学名誉教授 精神科医  
中央教育審議会元専門委員 教育職員養成審議会元委員  
保健体育審議会元委員

## 午前の部

- ☆ 学会長基調講演
- ☆ 特別講演
- ☆ 一般演題発表
- ☆ 総会
- ☆ ランチオンセミナー  
**土居 悟** (四天王寺大学教授)

## 午後の部

- ☆ 教育講演  
**古田 真司** (愛知教育大学教授)
- ☆ ワークショップ



主催 日本養護実践学会 <http://www.yjissen.jpn.org/>

詳細につきましてはホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

期日 **2019年 7月7日 (日)** 9:30~16:15

会場 **四天王寺大学あべのハルカスサテライトキャンパス他**  
〒545-6023 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43

学会長 **徳山 美智子** (日本養護実践学会副理事長 元大阪女子短期大学)

## 日本養護実践学会 第2回学術集会 開催趣意

日本養護実践学会は、我が国における『養護学』の学問的位置づけを確固たるものとし、学術の進展に寄与し社会に貢献していくために2017年8月に設立された学会です。

第2回学術集会を大阪の地、四天王寺大学あべのハルカスサテライトキャンパスにおいて開催いたします。

近年、国内外の教員をはじめとする専門職者の養成教育は、高度化及び専門化が顕著になってきております。そのような現状の中では、我が国特有の職種である養護教諭の職務の根底に、「養護をつかさどる」という「教育の意志」が存在していることを、科学的検証により明確に示すことが何より重要と考えます。

そこで、本学術集会のメインテーマは、『養護実践をいかに論文化するか』とし、サブテーマとワークショップのテーマを「日々の実践を研究的視点からとらえる」としました。養護学の基盤が実践にあることを示すと同時に、様々な実践を重ねられた諸先輩の思いを継承し発展させる意味と、新時代に向かって『研究』と『実践』の方向を探る意思とを包含させました。

ワークショップは、論文を書く基礎と基本に照準を合わせます。初心者の方には、論文を書く際の指針として、論文を書く経験を重ねた方には、これまでの経験を振り返るとともに、より良い論文を書くモチベーションを高めて頂くものとして、そして、それらを支援する方には、効果的なヒントとなるものとして、本学術集会を活用していただきたいと考えております。

本学術集会において、経験や立場が異なる方々と共に、真摯に実践や課題に向き合い、自らの課題をとらえなおしたり、新たな課題や視点を見出したりする中で、実践研究の面白さや奥深さ、厳しさを実感していただきたいと思っております。今を生きようとする子供たちについて真剣に議論できる貴重な機会は、多くの養護教諭諸氏が今後の教育実践に生かし、養護学の体系化の促進につながっていくものになると確信しております。

多数のご参加と演題のご応募を心よりお願い申し上げます。

学会長 徳山美智子

☆参加費（当日集金） 会員1,500円 非会員2,000円 学生1,000円

☆参加申し込み（事前申し込み）

締め切り **2019年6月14日（金）**

学術集会事務局アドレスにタイトル【参加申し込み】とし「所属」「氏名」及び「会員（会員番号）」「非会員」「学生」のいずれかを明記して申し込んでください。

☆一般演題発表申し込み

締め切り **2019年3月29日（金）**

学会ホームページの一般演題申し込み票に記入し、学術集会事務局アドレスまで申し込んでください。

☆ランチョンセミナーについて

参加申し込み先着80名までの方は、ランチョンセミナーにご参加いただけます。それ以外の方もセミナーにご参加いただけますが、昼食は、各自でご用意ください。

日本養護実践学会 第2回学術集会  
学会長 徳山美智子  
副学会長 楠本久美子 本田史歩  
実行委員長 高田恵美子  
事務局長 菊池美奈子

学術集会事務局  
〒567-8578 大阪府茨木市宿久庄2-19-5  
梅花女子大学 菊池研究室  
E-mail yogo-jissen@baika.ac.jp